

曾慶地区生活作品展

多彩で豊かな作品ずらい!

10月29日と30日の2日間、令和4年度曾慶地区生活作品展が開催されました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、一昨年、昨年に引き続き、多目的ホールでの展示を中心とした開催となりました。

会場となった多目的ホールには、各自治会や曾慶保育園の園児たち、こはぎ荘入所者の方の作品の他、個人出品や男性の作品も多く多彩な作品で来場者の



素晴らしい作品の数々に来場者の目が釘付け

皆さんの目を楽しませていただきました。そして特筆すべきは、今年度展示された作品の中から、いわい地方美術展(11月19日〜20日)に3点の出品が決まるなど、レベルの高い作品展になりました。

特別企画展として結いネットそげいの副会長を務められた故須藤良作さんの遺品の真空管アンプを含む昭和時代のオーディオで、当時の懐かしいレコードを聴くコーナーも好評でした。また研修室では特産品開発チームによる新そば粉販売が行われ、希望者にその場でそば打ちのサービスが行われました。

センター前駐車場では、JA女性部による農産物販売や大判焼きの販売も行われたことなどによる相乗効果もあり、昨年を大きく上回る247人の方にご来場いただきました。



研修室では特産品チームの皆さんが心を込めそば打ち



真空管アンプでレコードを聴くコーナーには地域外からもマニアが訪れました



JA女性部では軽トラ2台で農産物販売を行いました。

住田町から出店した「大判焼き」も大好評

【第35回明日を拓くいわい地方美術展 出品作品】

- ▼須藤雅子さん(3区) 一閑張り
- ▼岩淵恵久さん(13区) 文化ししゅう
- ▼足利千代子さん(5区) カエルの合唱



曾慶体育協会では10月30日、生活作品展の日程に合わせて、今年も「ニュースポーツ大会」を行いました。種目はラダーゲッター、スカットボール、輪投げの3種目。ポッチャの体験会も行われました。

参加した13人は和気あいあいとニュースポーツを通じて交流を深めました。入賞者は次のとおりです。

- ▼1位 佐藤正夫さん(2区)
- ▼2位 岩淵敏男さん(5区)
- ▼3位 岩淵良子さん(同)



ニュースポーツを楽しむ

そげっば通信

11月

●あなたと市民センターをつなぐ情報紙

曾慶市民センター
曾慶字神蔭32-1
☎ 0191-75-2244
FAX 0191-71-1019
Email: ynt_sogei@yahoo.co.jp

家庭教育学級

手作り楽器で楽しむ

10月26日、曾慶保育園と共催で家庭教育学級を行いました。講師の「わくわくガクさん」と一緒に、親子で「パクパクワニくん」を作りました。ワニくんの段ボールに好きな絵を書いたり塗ったり、最後にボタンを付けてカスタネットの完成。自分だけのワニくんに大喜びの園児たち！！最後に、メガネをかけてワニくんと一緒にわくわくガクさんのウクレレに合わせてみんなで音楽タイムを楽しみました。



親子でとっても楽しい時間になりましたね♪

健康講演会

薬についての知識を学ぶ



薬剤師さんから薬について学んだ健康講演会

11月10日、市役所大東支所保健福祉課と市民センター共催による健康講演会を行いました。講師はそうごう薬局大原店の渡邊薬剤師さんで「薬の正しい豆知識と新型コロナウイルス感染症の予防について」をテーマに講演しました。講演の中で渡邊さんは薬の正しい飲み方や食事との飲み合わせの注意点などを分かりやすく説明し、参加者からはさまざまな質問が出されていました。

曾慶体育協会グラウンドゴルフ大会

快音響かせ グラウンドゴルフで交流



快音響かせ和気あいあいと交流しました

10月23日、曾慶体協主催によるグラウンドゴルフ大会が曾慶グラウンドを会場に開催されました。雨が心配される天候でしたが、14人の参加者は広いグラウンドいっぱい快音を響かせながら、和やかな雰囲気の中で、交流を楽しみました。

大会の結果は次のとおりです。

- ▶1位 熊谷幸実(4区) 38打 ▶2位 菅原豊一(同) 47打 ▶3位 及川恵(同) 52打
- 《ホールインワン賞》
- ▶2回 熊谷幸実(4区) ▶1回 足利健市郎(4区)

お宝伝承プロジェクト歴史講座

知らない曾慶の歴史を学ぶ

11月17日、曾慶のお宝伝承プロジェクト主催(共催曾慶市民センター)による歴史講演会が曾慶地区センターを会場に開催され、27人が参加して幕末を中心とした曾慶の歴史について学びました。『戊辰戦争と東山北方の参戦・曾慶等一揆』をテーマに行った講演会の講師は、東磐史学会事務局長の村上光一さんが務め、これまでほとんど触れられてこなかった曾慶から始まった一揆等について、当時の社会背景も含めて臨場感たっぷりに解説しました。



各テーブルには当時使われていた民具等も配置

学びの土曜塾【冬休み編】

学びの土曜塾【冬休み編】を開催します。

- ◆日 時…令和5年1月10日(火) 午前9:30～
- ◆会 場…渋民市民センター
- ◆テーマ…「紙」

※詳しくは、小学校を通じて配布するチラシをご覧ください。

《中学生ジュニアスタッフ》を募集します
土曜塾に参加されたことのある中学生を対象に「ジュニアスタッフ」を募集します。

- ◆保険料として300円(予定)徴収します。
- ◆行き帰りは最寄りの市民センター発着のバスに乘車します。

【お問合せ・申込み】

摺沢市民センター ☎75-2229

「新そば粉販売」の注文受け付け

曾慶地区生活作品展でも好評だった、特産品開発チームが栽培した新そば粉を販売いたします。年越し用にいかがですか？

希望者には、チーム員が無料でそば打ちをしてお渡します。

- ◆引き渡し日時…令和4年12月25日(日) 午後3:00～午後4:00
- ◆申込み…令和4年12月22日(木)までに曾慶市民センターへ

※詳しくは別に配布するチラシをご覧ください。

「そげっば手ぬぐい」入荷しました

曾慶地区生活作品展でほぼ完売となりました「そげっば手ぬぐい」が再入荷しました。欲しい方は市民センター窓口でお買い求めください。

(@300円です)



お天のせ

曾慶地区卓球大会を開催

曾慶体協主催の恒例行事です。どなたでも参加できます。道具は体協で準備しますが、マイラケットのある方はぜひ持ってきてご参加ください。参加賞を準備して皆様のご参加をお待ちしています。

- ◆日 時…令和4年12月4日(日) 午後1:30～
- ◆会 場…曾慶体育館
- ◆試合形式…男女混合個人戦
- ◆持ち物…上靴、マイラケット(ある方)

しめ縄づくり講習会を開催

家族の幸せを願い、お正月飾りの「しめ縄」を自分で作ってみませんか？初心者の方でも、子どもから大人までどなたでも受講できます！

- ◆日 時…令和4年12月23日(金)午前9:00～
 - ◆会 場…曾慶地区センター
 - ◆申込み…令和4年12月16日(金)まで
- ※詳しくは別に配布するチラシをご覧ください。

マイナンバーカードの出張申請を行います

初めてマイナンバーカードを申請される方を対象に、市民センターにおいて市が委託する事業者によりマイナンバーカードの申請をお手伝いします。曾慶市民センターを会場にした出張申請は下記のとおりです。

- ◆日 時…令和4年12月14日(水) 午後1:30～午後3:30
 - ◆持ち物…QRコード付き交付申請書
- ※写真撮影は申請時に行います。

【お問合せ】

曾慶市民センター ☎75-2244

農機バンク

*農業機械“など”
ほしい人といらぬ人の情報交換コーナー*



《売りたい》

①オート播種機(苗箱) ②ラクター(クボタ) ③ディーゼル発動機(クボタ/6PS) ④籾精米機(丸七製作所/M2/原動機なし) ⑤米選機(サタケ/デジタル計量器付/GPA330/100V) ⑥ハーベスター(ヤンマー/ディーゼルエンジン) ⑦金網製トレー(100枚)サイズ120×60×3cm ⑧自動カンナ ⑨コンプレッサー(日立200V) ⑩井戸ポンプ(テラダ製・新品) ⑪耕運機のタイヤ2本(6-12/1本新品/1本サイド亀裂有) ⑫エアーコンプレッサー(カトウポンプ/100V) ⑬動力散布機(イセキ/タンク20L) ⑭電動芝刈機(ナショナル/100V/EY2272)

《買いたい》

①運搬機(油圧ダンプ付き) ②動力噴霧機 ※写真入りの最新情報は市民センターで閲覧できます。

そげいびと

⑧ 佐藤正男さん (69) ～曾慶字佐ノ平～



建築大工の道と 後進の指導一筋に

11月に入り、佐藤正男さんが長年にわたる「業務精励」が認められ、秋の褒章を受けられたという大きなニュースが飛び込んできました。去年は卓越技能者として「現代の名工」に選ばれ、国から表彰を受けられたというのは記憶に新しいところです。

正男さんは9歳年上の兄である昭治さんが大工として働く姿に憧れ、16歳で職業訓練校に入りました。卒業後に川崎町にある工務店に住み込みで9年ほど腕を磨き一級技能士の資格も取得、20代で現在の山寺建築を創業し、建築大工としてのキャリアは半世紀以上にもなります。

また、創業と同じ頃から東警職業訓練校での講師も務めていて、45年以上にもわたって後進の育成に務めています。その理由を尋ねると「自分は地域の人たちに育てられたと思っっている。その恩返しかな」と話す一方、「曾慶には先人が築いた見事

な神社仏閣が数多くある。このままでは朽ちて無くなってしまおう」と危機感を抱きます。物づくりの現場をもっと情報発信し、技術の継承を進めていく必要性を語ります。

大怪我を転機に新たな挑戦

正男さんにとって大きな転機となったのは、40代半ばに交通事故で命の危険にも及ぶほどの大怪我を経験したこと。1年ほどの入院生活の間、「もう歩けなくなるかもしれない」という不安を持ちつつも「歩けなくてもできる仕事を見つけよう」とベッドの上で猛勉強し、福祉住環境コーディネーターや指導員の資格も取得。また、以前から興味のあった社寺建築の技術も勉強することができ、神社仏閣の修復も手がけるようになりました。「(入院で)まとまった時間がとれたのは不幸中の幸いだった」とどこまでも前向きです。プライベートでは一男一女のお父さん、お孫さんも2人います。「お金にならないと思っただか、誰も大工を継がなかった」と苦笑い。現在は妻の郁子さんと長女の3人暮らしです。

「ものづくり」への熱い情熱とためまぬ努力は職人の目、地域や若い人に向ける優しい眼差、そして芸能祭などのユーモアあふれる司会ぶりも曾慶の人なら誰でも知るところです。これからも正男さんの活躍の場はまだまだ広がりそうです。

曾慶の人口と世帯数

令和4年11月1日現在

行政区	世帯数	男	女	合計
1区	27	37	27	64
2区	68	98	95	193
3区	54	68	80	148
4区	50	67	79	146
5区	63	80	73	153
6区	42	66	61	127
7区	28	46	42	88
13区	33	49	44	93
こはぎ荘	50	20	30	50
合計	415	531	531	1062
前月比	0	△1	1	0



曾慶百景
熊野神社くまのじんじや

大同2年(807)、坂上田村麻呂が上曾慶の岩穴にいた曾皆を討ちに来た際に、古熊野社に祈願して目的を果たしたことから、社恩に感謝して現在の西ノ沢に熊野神社を築いたと云われています。江戸時代の慶安2年(1649)に本殿が火災により焼失、30年後に再興されました。本殿の切妻屋根や梁等の形状が熊野神社本殿の中では異例で、また覆屋の中にあることから保存状態も良好なことなどから、平成5年(1993)に神社本殿が岩手県指定有形文化財に指定されました。